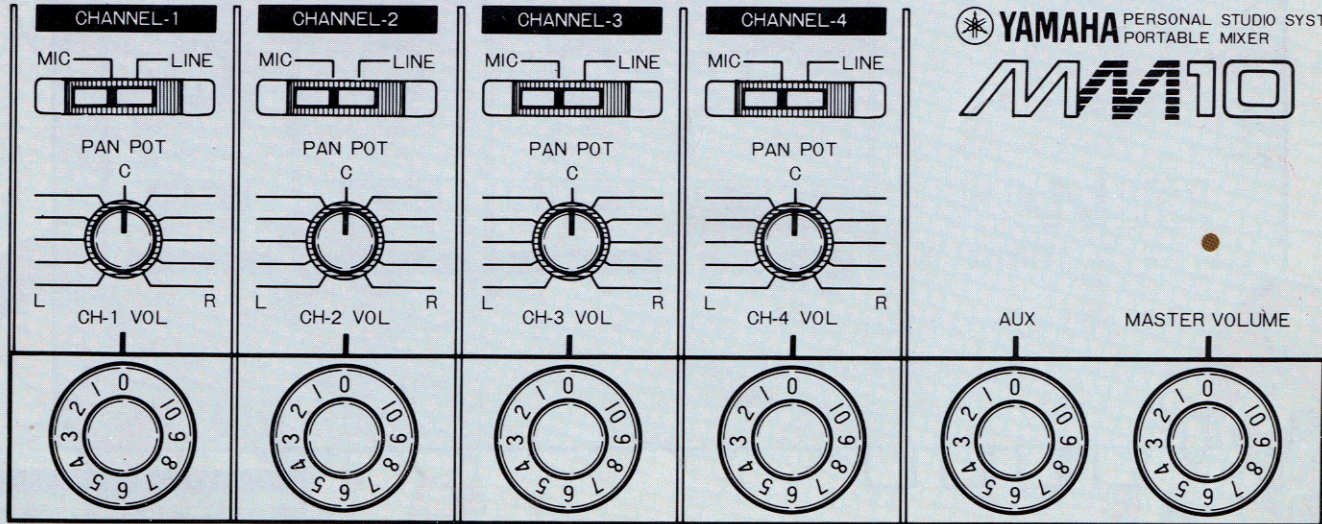


取 扱 説 明 書



ご あ い さ つ

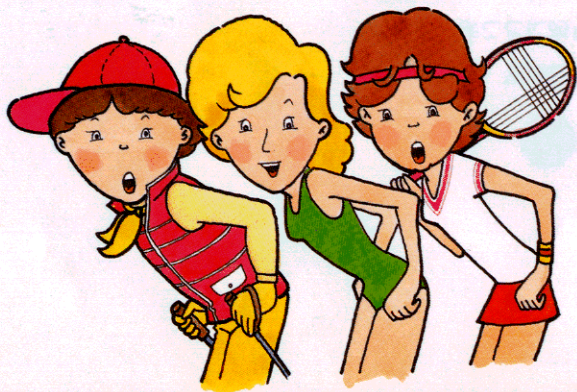
このたびは、YAMAHA ポータブルミキサー MM10をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

MM10は、4ch インプット、ステレオアウトプットのハンディータイプコンパクトミキサーです。屋外でのミニミニコンサート、マルチマイク録音や生録など、よりアクティブなサウンド創りをお楽しみいただけます。

あなたのユニークなイメージでミュージックライフがより幅広くなるようこの取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。

目次

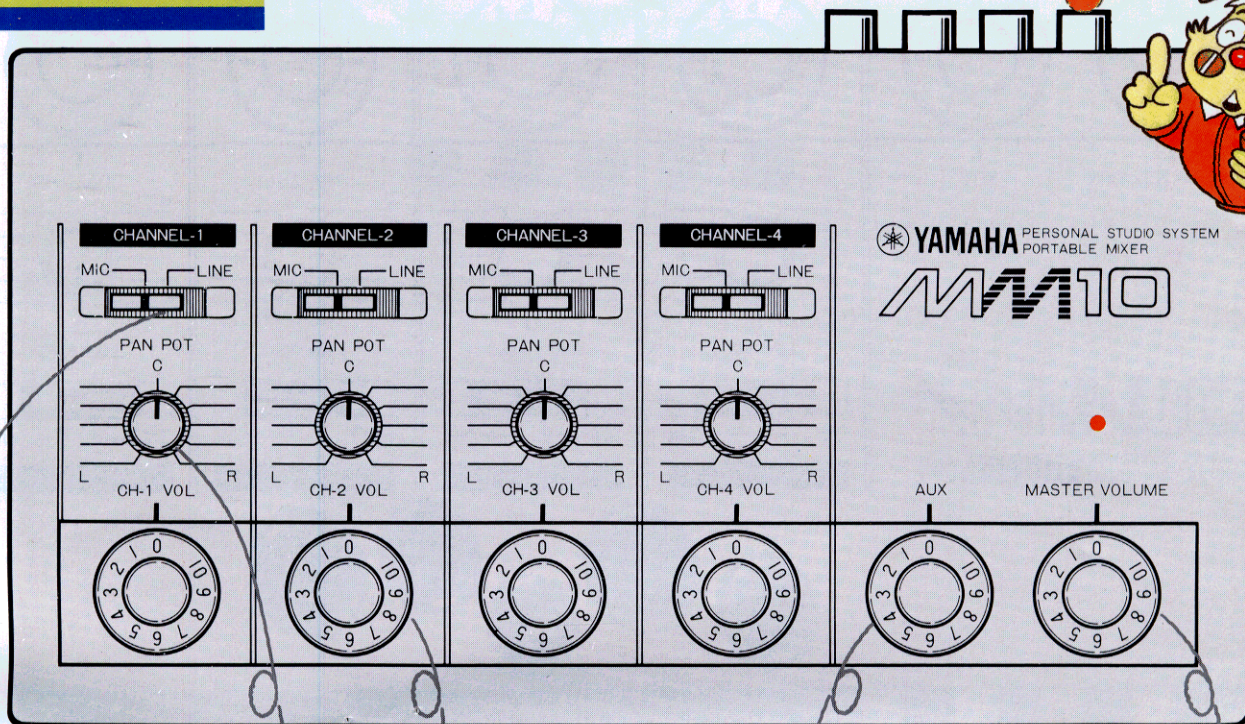
| | |
|--------------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| ご注意 | 2 |
| フロントパネル | 3 |
| サイド | 3 |
| リアパネル | 4 |
| ボトム | 5 |
| 使用例・入力側 | 6 |
| 使用例・出力側 | 8 |
| アンサンプル | 10 |
| ブロックダイアグラム | 14 |
| 仕様 | 14 |
| サービスのご依頼について | 15 |



ご注意

- プラグの接続時には各ボリュームを絞って行なってください。
- キャビネットや内部の回路部品をいためますので、直射日光やストーブなどの発熱体の近くには置かないでください。
- 故障の原因となりますので、キャビネットを開けたり改造しないようにしてください。
- 物をぶつかけたり、落としたりの乱暴な取り扱いは、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- ACアダプターは、本機専用(ポーターサウンドと兼用)のアダプター(PA-1)をご使用ください。
- セットをベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。変色等の原因となります。お手入れには、必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。
- 暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなることもあります。極端に温度が高い場所(60℃以上)に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。

フロントパネル



● MIC/LINE スイッチ

INPUTジャックに接続された信号のレベルに応じて切り換えます。マイクロホンなど小さなレベルの信号の場合MIC側にします。キーボードなどの電気楽器・オーディオ機器を接続する場合LINE側にします。

● VOL (チャンネルボリューム)

各チャンネルに入力された信号のミキシングレベルをコントロールします。

● AUX ボリューム

AUX IN (L, R) に入力された信号のミキシングレベルをコントロールします。

● MASTER VOLUME

各チャンネルボリュームとAUXボリュームによってミキシングされた信号を全体的にコントロールしてPGM OUT (L, R) の音量を調整します。

● PAN POT

INPUTに入力された信号をL, Rのステレオ信号に振り分けます。“C”位置では音はセンターに定直し、L側にまわすと左、R側にまわすと右に移動します。Lいっぱいになると右の音は出なくなり、Rいっぱいになると左の音が出なくなります。チャンネルを2つ使えばステレオ信号をそのままミキシングすることもできます。たとえば、CH 1 にステレオL信号を入力してPAN POTをLいっぱい、CH 2 にステレオR信号を入力してPAN POTをRいっぱいになればステレオ信号をそのままミキシングできます。

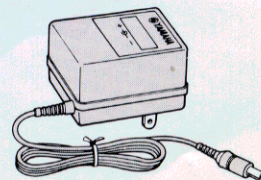
● POWER

ONにすると電源が入り、インジケータが点灯します。パワーアンプに接続しているときは、MM10の電源を先に入れ、パワーアンプの電源はあとで入れてください。また、OFFにするときはパワーアンプの電源を先に切り、MM10の電源はあとで切ってください。

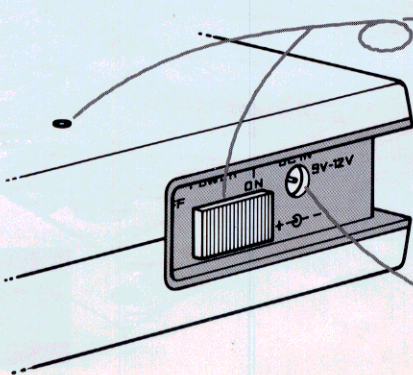
● 外部電源ジャック

電灯線のある所では、別売のACアダプター (PA-1) をご使用いただけます。本機専用 (ポーターサウンドと兼用) のACアダプター以外は絶対に接続しないでください。

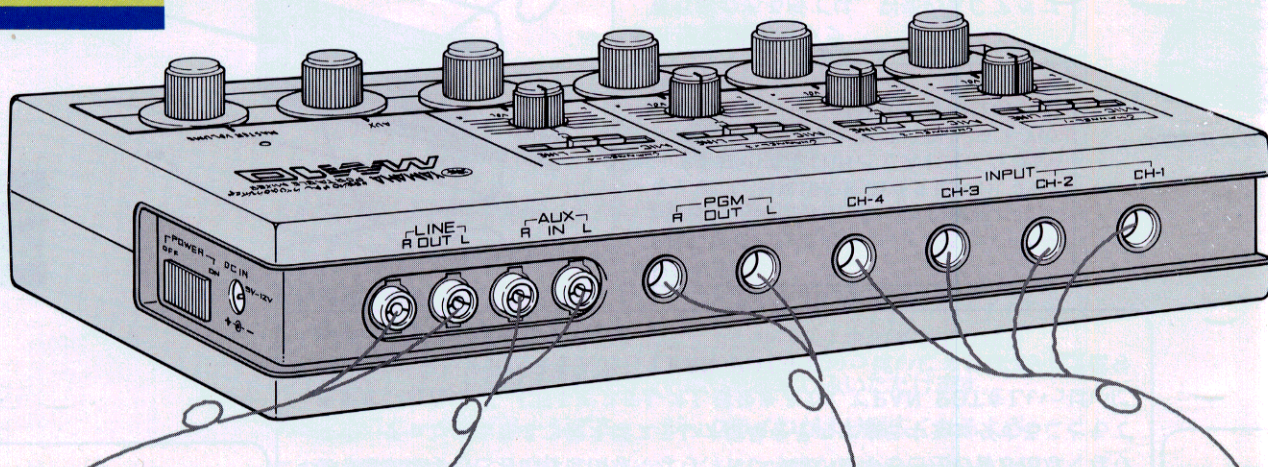
ACアダプター (PA-1)



サイド



リアパネル



● LINE OUT (L, R)

INPUT (CH1~CH4)とAUX IN (L, R)のミキシングされた信号が、MASTER VOLUMEに関係なく出力されます。テーブデッキやステレオアンプに接続します。

● AUX IN (L, R)

ステレオ信号の入力端子でINPUTの信号とミキシングすることができます。テーブデッキやもう一台のMM10 (LINE OUT)を接続します。

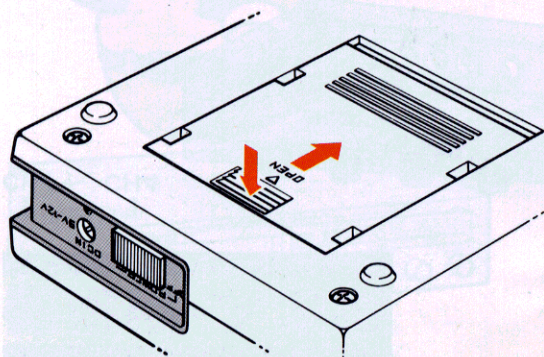
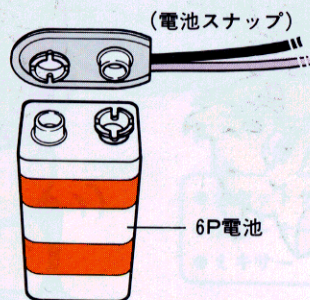
● PGM OUT (L, R)

INPUT (CH1~CH4)とAUX IN (L, R)のミキシングされた信号が出力されます。出力レベルはMASTER VOLUMEによってコントロールされます。
※MASTER VOLUME `0` では音が出ません。

● INPUT (CH1~CH4)

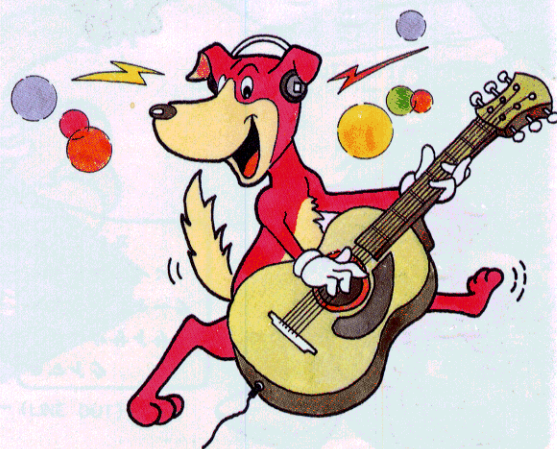
マイクや電気楽器、その他モノラル信号の入力端子です。入力された信号は、PAN POTによってL, Rのステレオ信号に振り分けられミキシングされます。

ボトム



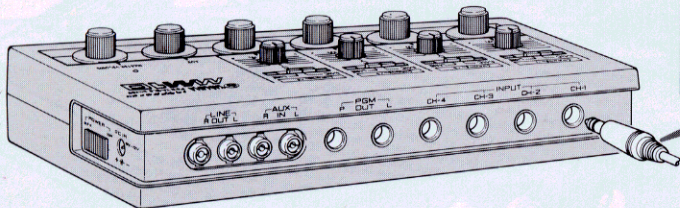
電池の交換

- ①電池ケースの蓋を図のように押しながらスライドしてはずします。
(極端な力は加えないでください。)
- ②電池スナップに正しく電池を差し込んでください。
※長期間ご使用ならない場合には、液もれる場合がありますので電池を抜いておいてください。
※パワーインジケータは電源ONの状態を示すだけです。音量が下がったり、はずみが多くなったりしたときは電池の交換時期です。

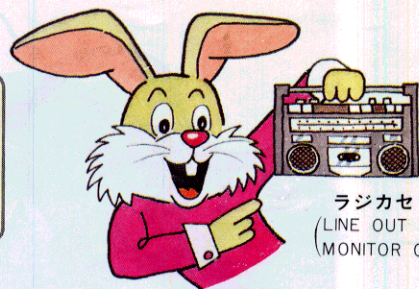


使用例・入力側

INPUT
CH1 ~ CH4



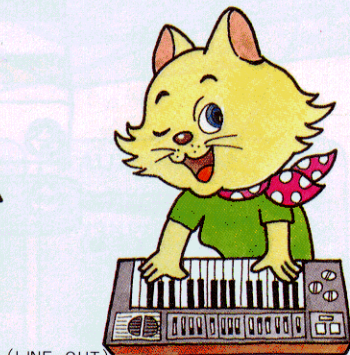
- マイク
- シンセサイザー
- エレキフォーク
- リズムマシン
- ラジカセ



ラジカセ
(LINE OUT
MONITOR OUT)



マイク



(LINE OUT)

CS 01 シンセサイザー

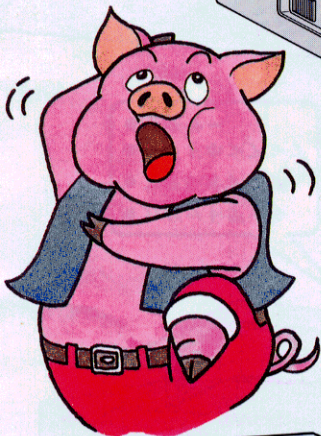
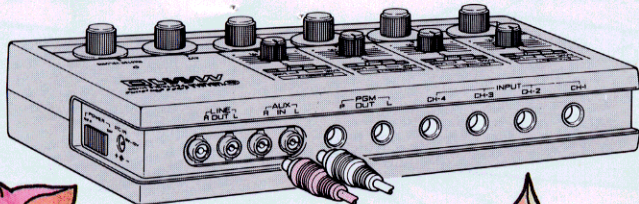


エレキフォーク (ピックアップ付フォークギター)



リズムマシン (LINE OUT)

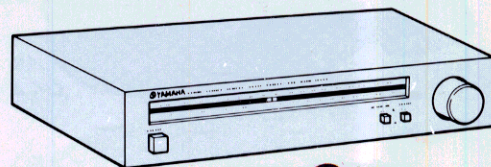
AUX
R IN L



- カセットデッキ
- チューナー
- ミキサー



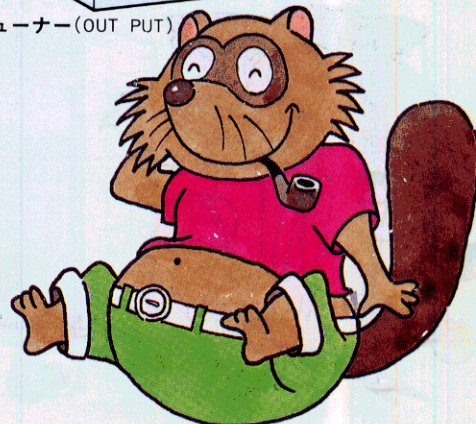
MM10
ミキサー (LINE OUT)



チューナー (OUT PUT)

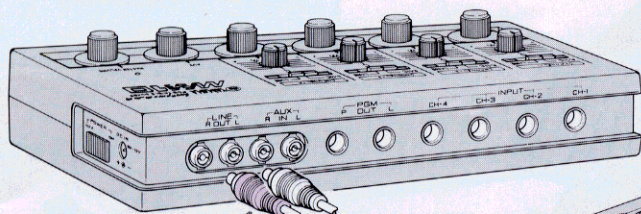


カセットデッキ (LINE OUT)

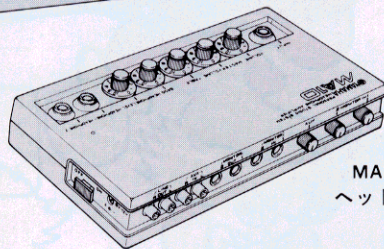


使用例・出力例

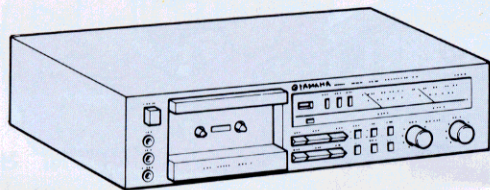
「LINE」
R OUT L



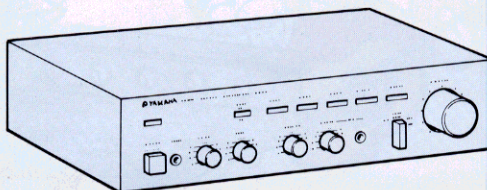
- カセットデッキ
- ステレオアンプ
- ヘッドホンアンプ
- ミキサー



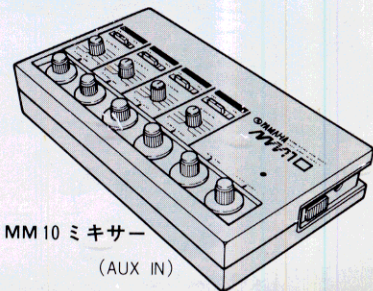
MA10
ヘッドホンアンプ
(AUX IN)



カセットデッキ (LINE IN)



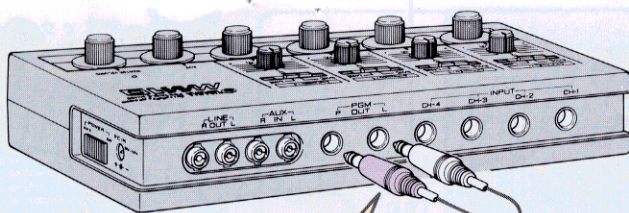
ステレオアンプ (AUX IN)



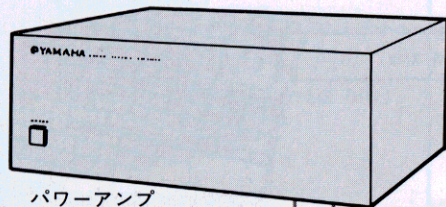
MM10 ミキサー
(AUX IN)



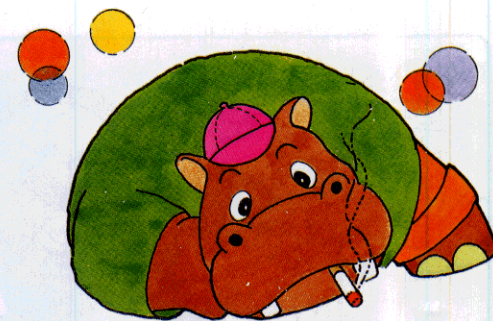
「PGM」
R OUT L



- パワーアンプ

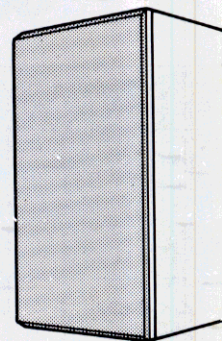
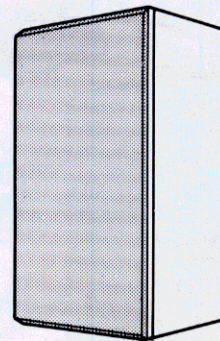


パワーアンプ



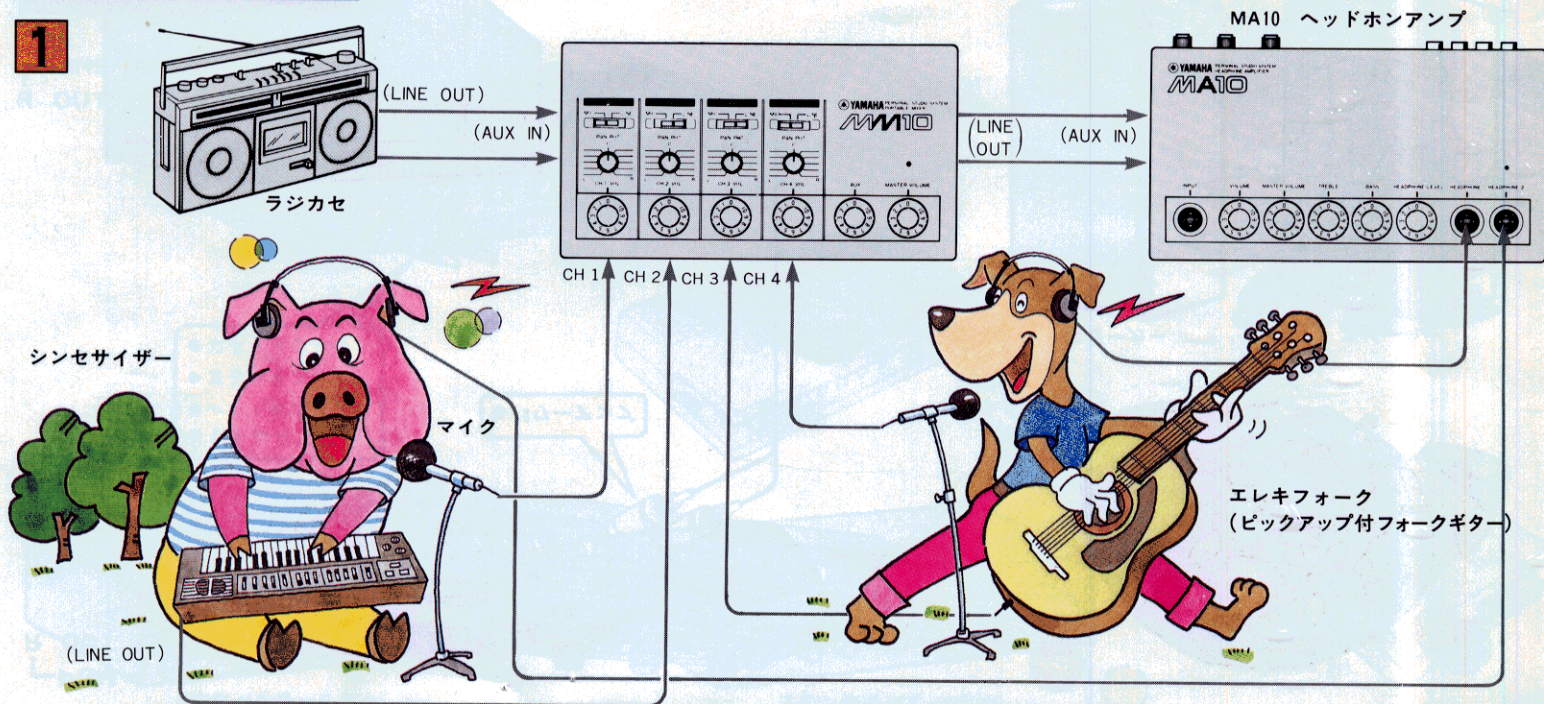
スピーカー

スピーカー

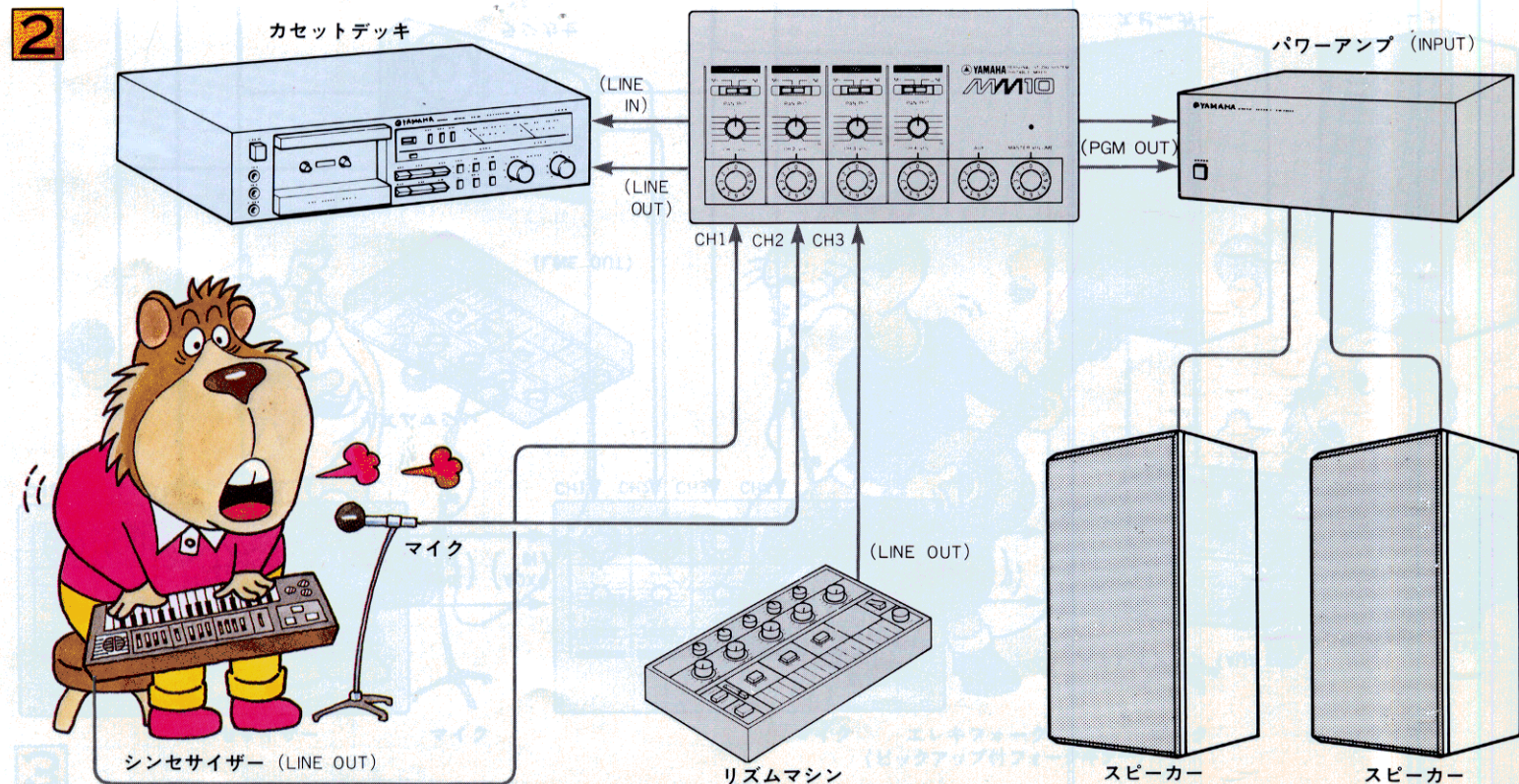


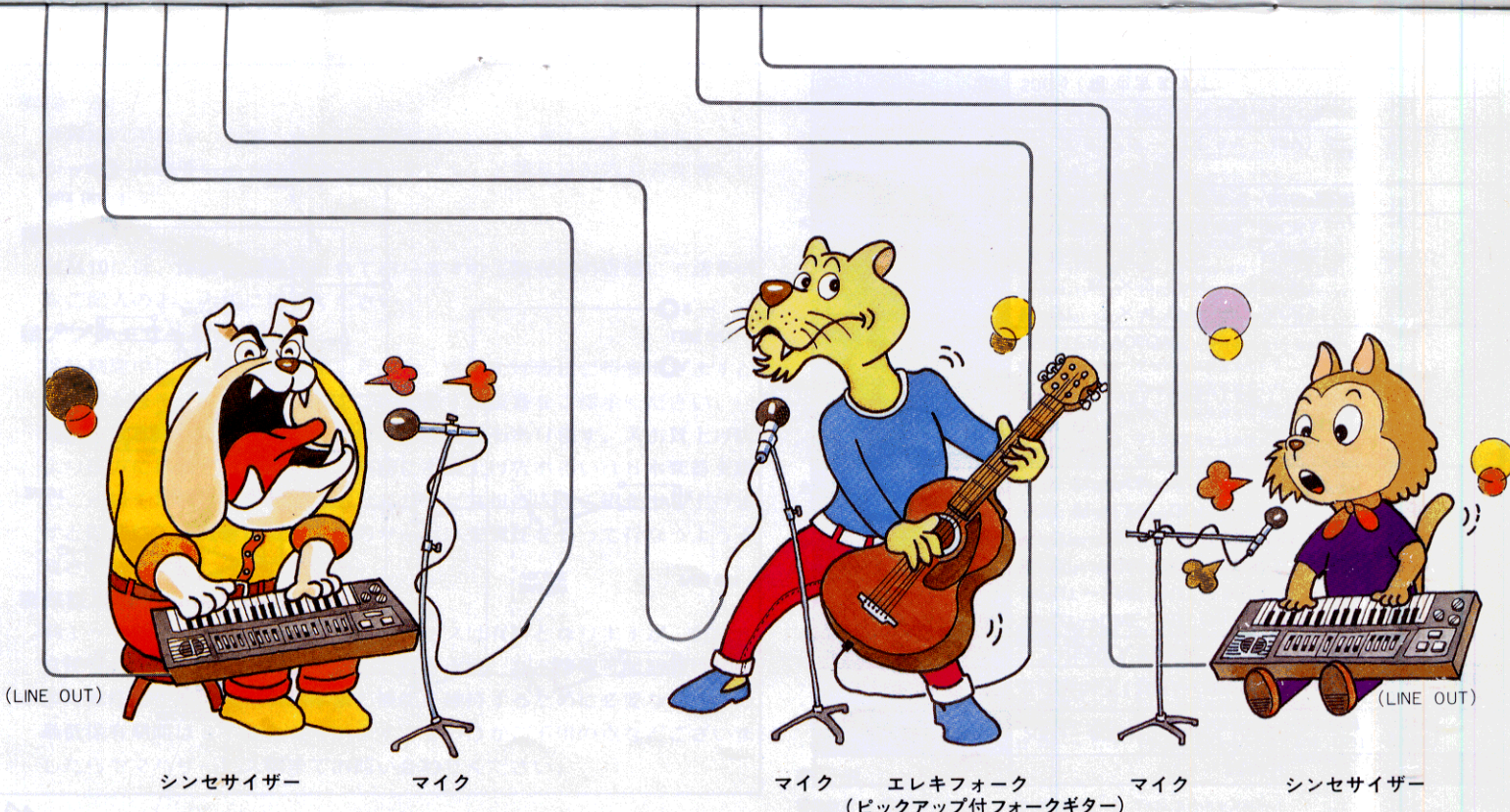
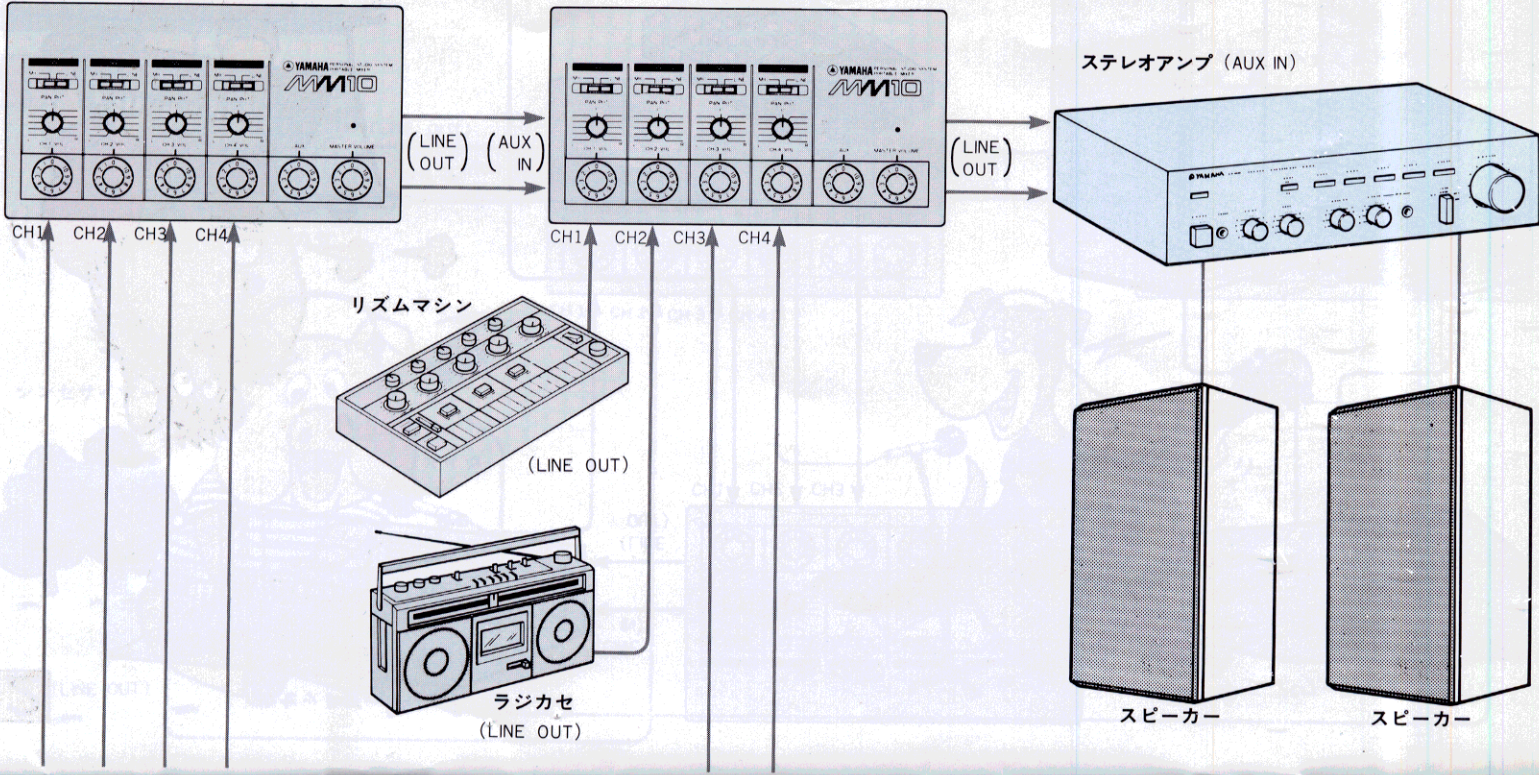
アンサンブル

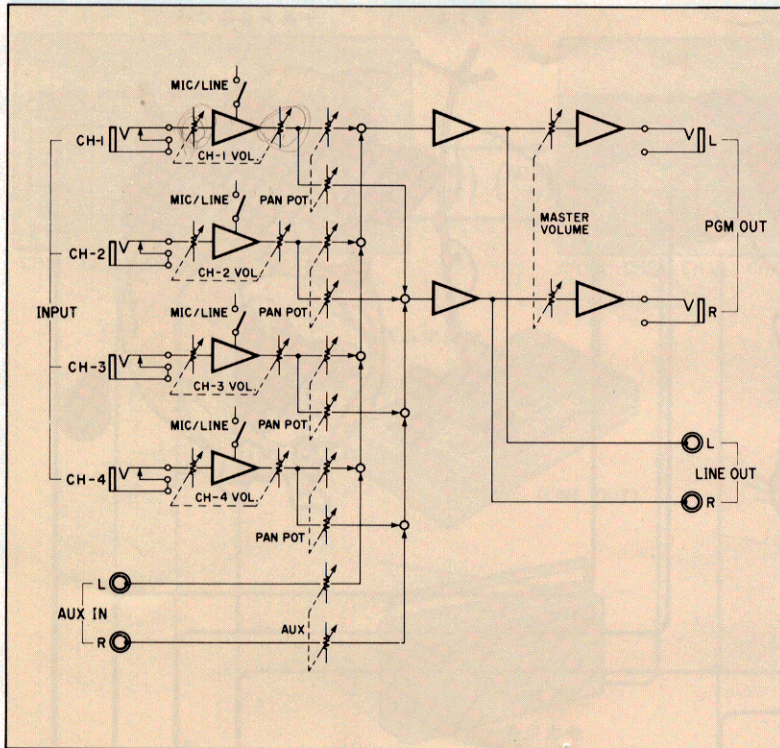
1



2







| MM10 | |
|---------|---|
| 周波数特性 | 20Hz~20kHz $+0$ ₋₂ dB (10kΩ LINE OUT -20dB) PGM OUT -10dB) |
| 全高調波歪率 | 0.2%以下(20Hz~20kHz 10kΩ LINE OUT -20dB) PGM OUT -10dB) |
| *ノイズレベル | -110dB(入力換算、150Ω ショート) |
| 最大電圧利得 | INPUT→LINE OUT (MICポジション) 30dB INPUT→LINE OUT (LINEポジション) 0 dB INPUT→PGM OUT (MICポジション) 40dB INPUT→PGM OUT (LINEポジション) 10dB AUX IN→LINE OUT 0 dB AUX IN→PGM OUT 10dB |
| コントロール | VOLUME PAN POT INPUT LEVEL:(MIC/LINE) AUX MASTER VOLUME } CH1~CH4 |
| ジャック | INPUT × 4 (PHONE JACK) AUX IN × 2 (PIN JACK) LINE OUT × 2 (PIN JACK) PGM OUT × 2 (PHONE JACK) |
| 電池寿命 | 24時間(日立マクセル S-006P使用) |
| 電源 | DC 9V (6P電池) AC アダプター (DC 9V~12V) |
| 寸法 | 223.5(W) × 52(H) × 129.5(D) mm |
| 重量 | 500g (電池含まず) |

サービスのご依頼について

■保証

MM10の保証は、ご購入日より(保証書による)満1ヶ月(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。又保証は国内のみ有効)と致します。

■保証書

MM10には、保証書が添付されておりますので販売店の店頭にて諸事項をご記入の上、大切に保管ください。

■アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参きますと技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。

保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

■保証期間後のサービス

満1ヶ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお修理可能期間は10年また補修用性能部品(製品本来の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は8年となっています。そのほかご不用の点などございましたらヤマハサービス網までお問い合わせください。

■YAMAHA 電気音響製品サービス拠点

お客様ご相談窓口

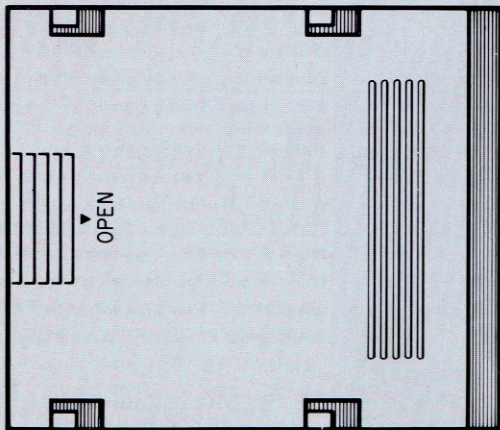
| | | |
|-------------------|-----------------|---|
| 東京電音サービスセンター | ☎(03) 572-3341 | 〒104 東京都中央区銀座7丁目11-3(矢島ビル4F) |
| ・東京ステレオサービスステーション | ☎(03) 255-2241 | 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 (龍名館ビル4F) |
| ・東京電音サービスステーション | ☎(03) 572-3341 | 〒104 東京都中央区銀座7丁目11-3(矢島ビル4F) |
| ・横浜電音サービスステーション | ☎(045) 212-4852 | 〒231 横浜市中区本町6-61-1 |
| ・新潟電音サービスステーション | ☎(0252) 43-4321 | 〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバークールビルヤマハ新潟センター2F) |
| 大阪電音サービスセンター | ☎(06) 877-5262 | 〒564 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) |
| ・大阪ステレオサービスステーション | ☎(06) 445-6421 | 〒550 大阪市西区江戸堀1-9-1 (肥後橋センタービル6F) |
| ・大阪電音サービスステーション | ☎(06) 877-5262 | 〒564 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) |
| ・四国電音サービスステーション | ☎(0878) 33-2233 | 〒760 高松市南新町6-1(岡田ビル2F) |
| 名古屋電音サービスセンター | ☎(052) 231-2432 | 〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 |
| ・名古屋電音サービスステーション | ☎(052) 231-2432 | 〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 |
| ・北陸電音サービスステーション | ☎(0762) 43-5431 | 〒921 金沢市泉本町7-7 |
| ・浜松電音サービスステーション | ☎(0534) 56-9211 | 〒430 浜松市東伊場2-14-1 |
| 九州電音サービスセンター | ☎(092) 472-2137 | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 |
| ・九州電音サービスステーション | ☎(092) 472-2137 | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 |
| ・広島電音サービスステーション | ☎(082) 874-3787 | 〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2205-3 |
| 北海道電音サービスセンター | ☎(011) 781-3621 | 〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 |
| ・北海道電音サービスステーション | ☎(011) 781-3621 | 〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 |
| 仙台電音サービスセンター | ☎(0222) 95-6111 | 〒983 仙台市原町南目字薬師堂北21 |
| ・仙台電音サービスステーション | ☎(0222) 95-6111 | 〒983 仙台市原町南目字薬師堂北21 |

お預り品修理拠点

| | | |
|--------------|----------------------------------|----------------------------------|
| ・東京電音サービスデポ | ☎(03) 904-4986 ☎(03) 904-4901 | 〒171 東京都練馬区高野台2-3-10 |
| ・大阪電音サービスデポ | ☎(06) 877-5262 | 〒564 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) |
| ・名古屋電音サービスデポ | ☎(052) 231-2432 | 〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 |
| ・九州電音サービスデポ | ☎(092) 472-2137 | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 |
| ・北海道電音サービスデポ | ☎(011) 781-3621 | 〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 |
| ・仙台電音サービスデポ | ☎(0222) 95-0249 | 〒983 仙台市卸町5丁目7 (卸番共同配送センター3F) |

本 社

営業技術部 電音サービス課 ☎(0534) 65-1111 〒430 浜松市中沢町10-1



 **YAMAHA** MODEL MM10

DC:9V S-006P, 6F22 OR EQUIV.

NIPPON GAKKI CO.,LTD. MADE IN JAPAN

高温にご注意：窓をしめきった自動車内や直射日光の当る所暖房器具の近くに放置しないで下さい。(変形、変色、故障することがあります。)

CAUTION : AVOID LEAVING IN CAR WITH CLOSED WINDOWS, NEAR HEATER OR IN DIRECT SUNLIGHT, OTHERWISE DEFORMATION OR OTHER PROBLEM MAY OCCUR.

PRECAUTION : EVITE DEJAR EL INSTRUMENTO EN VEHICULOS CON LAS VENTANAS CERRADAS, CERCA DE CALENTADORES, O BAJO DIRECTOS RAYOS SOLARES, PUES PUEDE DEFORMARSE U OCURRIRLE OTROS PROBLEMAS.

PRECAUTION : EVITER DE LAISSER DANS UNE VOITURE AUX VITRE FERMEES, PRES D'UN APPAREIL DE CHAUFFAGE OU DANS UN ENDROIT DIRECTEMENT EXPOSE AU SOLEIL, CELA POURRAIT CAUSER DES DEFORMATIONS OU D'AUTRE PROBLEMES.

VORSICHT : NICHT IM AUTO BEI GESCHLOSSENEN FENSTERN, IN HEIZUNGSNAHE ODER IN DIREKTEM SONNENLICHT LASSEN, WEIL SONST VERFORMUNG ODER EIN ANDERES PROBLEM VERURSACHT WIRD.